

大臣指示

- 本日、高市総理のもとで「第8回 中東情勢に関する関係閣僚会議」が開催され、私を含む関係閣僚に対し、正確な情報発信や、赤澤大臣と協力した川中から川下の流通過程の実態把握と目詰まり解消に全力で取り組むよう指示がありました。
- また、総理指示も踏まえ開催した本日の幹部会議では、本省関係部局及び各地方支分部局^{しぶんぶきょく}から、中東情勢を踏まえた現在の取組について報告を受けました。
- 閣僚会議・本日の報告を踏まえ、私から、以下の取組を迅速かつ強力に進めるよう、指示します。
- まず、ペルシャ湾内の日本関係船舶に関しては、引き続き、安全確保を最優先に、情報収集を徹底するとともに、関係者に対する適切な情報提供等を、関係機関とも連携しながら対応してください。

- 次に、重要物資の供給確保に関しては、日本全体として必要となる量は確保できており、国土交通省としては、これまで、供給の偏りや流通の目詰まりの解消に取り組んできています。他方で、一部の事業者の方々からは、依然として、供給不安の声が寄せられております。

- このため、業界団体等を通じた聞き取りや相談窓口の活用に加え、地方整備局・地方運輸局等において、地方経済産業局等と連携しつつプッシュ型で丁寧に供給状況を把握するなど、燃料油や石油製品の仕入れ状況や価格高騰の状況把握を行ってください。

○ 建設・住宅資材については、今般、特に情報の届きにくい一人親方等に対して、地方整備局等が全建総連の地方組織等や地方経済産業局と連携し、資材の調達・供給状況を把握する仕組みを新たに構築し、対策を強化しました。地域ごとにプッシュ型で、地方整備局等が、自ら、情報収集を行い、また、事業者の方々への必要な情報発信を行ってください。

この際、全建総連は、災害時などに一人親方等との連携にご尽力いただいているところ、こうした団体等と連携し、中小の工務店・一人親方といった方々をはじめとする一つ一つの声も聞き逃さぬよう、こちらから積極的に現場の生の声を聞き取ってください。

○ その上で、建設・住宅資材に加えて、エンジンオイルなどの潤滑油やディーゼル車の排ガスの浄化に用いるアドブルーを含め、「前年同月同量」を基本とした調達の要請を行うなど、経済産業省と連携・協力し、一刻も早い、供給の偏りや流通の目詰まりの解消に取り組んで下さい。

- 本省各局及び各地方支^{しぶんぶきょく}分部局においては、広く所管業界について、現場の声をよく伺いながら、供給の偏りや流通の目詰まりの解消、価格高騰の抑制等に全力で取り組んで下さい。